

家庭教育学級長さん応援つうしん

手塩^{てしお}教頭先生



令和3年 1月発行
中濃県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当:後藤
〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2
TEL: 0575-33-4011 (内線210)
FAX: 0575-35-1492
E-mail : goto-yuka@pref.gifu.lg.jp

通信「かてきよー」は中濃県事務所HPからご覧いただくことができます。QRコードはこちら→
検索される場合は以下のキーワードでお進みください。

中濃県事務所 家庭教育→家庭教育情報→中濃地区の家庭教育学級→家庭教育学級長応援通信「かてきよー」



2021年 今年もよろしくお願いたします!



新しい年が始まりました。みなさんの笑顔が輝く年になりますようにと願っています。

家庭教育学級の役員の皆様にとりましては、1年のまとめと引継ぎの時期になりました。今年度は、新型コロナ感染症対策から、当初の計画通りの取組をすることが難しい年となりました。予定していた取組ができず残念な思いをされた方もいらっしゃったことでしょう。

来年度への引継ぎの際には、今年度の経験を大切に伝えてください。まだ先の見通しがもてない中、今年度の皆さんの思いや工夫は、特別な状況を乗り切るための大きな道しるべになるはずです。また、今まで通常の年に続けられてきた伝統的な取組などについても引き継がれると、新役員さんの参考になることと思います。

今号では、引継ぎを意識した「締めくりにひと工夫」と、各市で開催された取組の様子を紹介します。

「締めくりにひと工夫」 ①閉級式

家庭教育学級の最後に閉級式を予定されている学級もあります。園・学校の先生にお話をいただいた後、役員さんが1年間を振り返るあいさつをして締めくくるとい流れが多いようです。今年度は、閉級式も書面開催(メールや通信でのあいさつ)になる学級が多いかもしれません。役員さんの思いが多くの保護者さんに届くように、伝える内容をひと工夫して来年度の家庭教育学級の充実につなげましょう!

①今年度の家庭教育学級のテーマや願いを再確認しましょう!

例…今年度は「楽しく学び つなごう絆」をテーマに〇回の家庭教育学級を開催しました。「みんなで楽しく学べること」とともに、「保護者や親子のつながり」ができたらいいなと思って進めてきました。

②今年度の取組の良かったことや工夫したことを伝えましょう!

例…第1回は休校中の子供たちと何か一緒にできることをしたいと考え、例年夏休みに行っていた在宅取組「親子クッキング」を5月に取り組めるようにしました。…等 今年度の取組を全て紹介できると良いですね。

③感謝の気持ち、お礼を伝えましょう!

◆多くの方々の協力のもとに、1年間の家庭教育学級を終了することができます。参加・協力いただいた保護者の皆さんへの感謝、また一緒に考え寄り添ってくださった役員さん・先生方へお礼の気持ちを伝えましょう。

④役員としての感想を伝えましょう!

◆役員を引き受けた時から今に至るまで、自分なりにがんばったこと、役員をやって良かったこと、勉強になったことなどを率直に伝えてみてはいかがでしょうか。1年間頑張ってくださいました皆さんの声は、必ず参加者の心に響きます。

「締めくくりひと工夫」 ②引継ぎ

今年度の振り返りをもとに、
次の役員さんの「よし、やってみよう！」
につながるバトンタッチを!



来年度の役員さん

よし、やってみよう!

チェック表で1年間を振り返ってみましょう (口にチェックをしてみましょう)

<input type="checkbox"/>	学習内容は、年間テーマに沿って「親の学びにつながる」内容や「保護者が元気になる」内容でしたか。	社会状況や子供の発達課題から「学ぶべきこと」と、「学びたいこと」の両方を考慮し、どちらかに偏ることなくバランスよく設定できるといいですね。
<input type="checkbox"/>	学習内容について、役員、先生、その他の関係者と相談して決定できましたか。	参加者の感想やアンケートの声は次の取組への参考になります。
<input type="checkbox"/>	参加者の反応をつかむことはできましたか。	学校HPや通信での情報提供に加え、日常のロコミも効果大!です。
<input type="checkbox"/>	参加意欲をもってもらえる開催案内や学習のまとめなど、広報活動を工夫することはできましたか。	テーマや進め方に迷う時に、ぜひ参考に。資料としてもご利用ください。
<input type="checkbox"/>	「家庭教育学級運営マニュアル」や「みんなで子育て 家庭教育プログラム」を活用することはできましたか。	親子や家族の関わりを深めるきっかけに。全家庭での取組が可能です。
<input type="checkbox"/>	「話そう!語ろう!わが家の約束」運動など、在宅取組型に取り組むことはできましたか。	



引き受けた時の不安な気持ちを
思い出して伝えよう!

◆役員を引き受けて不安だったことや、心がけたことを具体的に語りましょう。

・人前で話すことも苦手。パソコンも苦手。どうしよう?

絵が得意な方にはイラスト、パソコンが得意な方には文書の作成をお願いする。話す原稿はあらかじめ担当の先生にアドバイスをいただいていたお等、1人で抱え込まないように協力して進めることができるといいですね。役員さん皆がチームになって進めることを伝えましょう。



1年前、自分が知りたかった
ことを伝えましょう!

◆家庭教育学級リーダーとしての仕事は?

・校内のことだけでなく、対外的な仕事についてもお伝えください。(リーダー研修会 等)

◆年間計画の立て方は?

・ファイルや資料を見せながら具体的に。「好評だった内容」「毎年行われている大切にしたい内容」を伝え上で、新役員さんのオリジナリティーを発揮できる余白を残しておきましょう。



次の役員さんへエール
を送りましょう!

◆新役員さんにとって、現役員さんは一番身近な大先輩。大変だけれどやって良かったこと、1年間実践してきたからこそ分かったこと、来年度ぜひ取り入れてほしいこと等を伝えましょう。また、今だから言える話や、成功談・失敗談も惜しみなく伝えましょう。きっと、新役員さんの「よし、やってみよう!」につながります。

感染症対策をして活動!

昨年秋頃から、各地域で、親子・保護者が集まって活動する家庭教育学級が少しずつ開催されています。お子さんと一緒に安心して参加できるように、保護者がリフレッシュできるようにという願いから、感染症対策を考慮した活動内容を工夫されています。活動の様子を紹介します。

郡上市八幡乳幼児学級 伝々夢詩 (でんでんむし)

令和2年10月29日(木)開催

でんでんクラブ (仮称)

『手形アート』

B: 体験活動参加型

八幡乳幼児学級「伝々夢詩」では、乳幼児学級の『課外活動版』ともいえる自主的な活動を始めました。短い育児休暇で職場復帰する母親や大勢が苦手な母親など、乳幼児学級に定期参加しづらい母親が、単発で気軽に参加できる場を提供したいと考えた担当者さんの思いが「でんでんクラブ(仮称)」の発足につながりました。

内容は参加者によるアンケートから決定し、学級生による運営を目指しています。今回は、2回目の「手形アート」です。真っ白な色紙にお子さんの手形や足形をスタンプし、イラストやシールでアレンジしていきます。お子さんへのメッセージを書き添えて完成した手形アートは、きっと大切に飾られたことでしょう。

〈講師〉 渡瀬 香織 氏 (petapeta-art ⊕アドバイザー)

- 〈主催者の願い〉
- ・ 素敵な思い出になる「手形アート」を体験し楽しんでもらいたい。
 - ・ 同じ市内で講師として活動する母親の姿を知ってもらいたい。
 - ・ 学級生以外にも興味を持ってもらいたい。

〈でんでんクラブ(仮称)メニュー表(年間計画)〉

- 1, 万華鏡づくり
- 2, 手形アート
- 3, ハーバリウム
- 4, 南天リース
- 5, 地味噌づくり



担当者さん

「手形アート」作成中の皆さん

お子さんがお母さんに抱っこされている間に、講師が手形足形のスタンプを取っていきます。



広い和室が会場です。この日は5組の親子参加がありました。サポーターさんが、子供たちを見守ってくれているので、お母さん方は手形足形を押した色紙に、メッセージを書き込んだり、飾りつけをしたりして、安心して作業に集中できます。



参加者の感想より (一部抜粋)

- ・ 2つ作って、両家のおじいちゃんおばあちゃんへのプレゼントにしました。とても喜んでもらえてよかったです。
- ・ 他のお子さんの様子も見ながら楽しく作業をすることができました。
- ・ 久しぶりに工作のような作業に集中することができて気分転換になりました。



【学びポイント】

- ・ 自主活動の「でんでんクラブ(仮称)」は、定員以内なら乳幼児学級生でなくても参加でき、参加体験にかかる費用も自己負担とした。子育ての不安や悩みを解消できる場・子育ての学習をする場・子育て仲間を増やす場として、単発で気軽に参加できる環境を整えられたこと。
- ・ 同市内、同世代の講師がお子さん同行で講座を進行し、和やかな雰囲気が生まれた。講師にアドバイスをもらい制作を進める姿、参加者同士が近況を交流する姿があり、制作と交流を兼ねて楽しく活動されていたこと。

〈家庭教育9つの学習項目〉

今回の取組は下線の1項目

基本的な生活習慣・自立心・自制心・
善悪の判断・挨拶及び礼儀・思いやり・

命の大切さ・家族の大切さ・

社会のルール

【岐阜県家庭教育支援条例より】



美濃市立牧谷小学校

令和2年10月30日(金)開催

『やる気を引き出す魔法の「ほめ方」と「ほめ言葉」』

C:講演会型

体育館を会場に、高学年と保護者が参加する講演会を実施しました。講演会の中では、講師の指示で全力の拍手・笑顔を体験し、会場全体が笑顔に包まれました。講師からは、ほめ方のポイント、なかなかほめられない時の考え方の変換、ほめる時のコツなどの話がありました。講師の質問に挙手をして答える児童の姿、メモを取りながら講話に耳を傾ける保護者の方々など、熱心に聴講する姿があり、70分があったという間に感じられました。

〈講師〉 橘 英樹 氏 (一般社団法人 日本ほめる達人協会)
〈主催者の願い〉 子供との接し方を振り返り、子育てについて学ぶ機会にしたい。

講演会の様子



【新型コロナウイルス対策】

- ・受付で手指消毒と検温の実施
- ・体育館の窓やドアは解放
- ・離れた間隔で並べられた椅子に着席



全力の笑顔と応援を体験中



- ・2人組になり、全力の笑顔と全力の応援を体験しました。応援する方の表情も自然に笑顔に。『笑顔には笑顔!』
- ・『ほめほめサンドイッチ』伝えたいことやダメ出しは、ほめ言葉の間にサンドして伝えることがコツ!

〈児童の感想より〉(一部抜粋)

- ◆一番心に残ったことは?
・自分が笑顔になることで、みんなの顔もわらってくるというところです。
- ◆今日からやってみようと思うこと
・ほめ言葉、「ありがとう・ただいま・おかえり」のかえし言葉を生活でもいかせるようにしたいです。
・あたりまえのことでも、「ありがとう」と言うのを忘れないようにしようと思います。

〈保護者の感想より〉

- ・忙しい時には子どもの話を最後まで聞いてあげられないことが多かったが、今度からは話を聞いてあげられるようにしたい。笑顔で応えてあげたい。
- ・ありがとうという言葉が口癖にしていこうと思う。今日聞いた内容を時々思い出しながら生活していきたい。
- ・笑顔だけでなく、拍手と態度がほめることにつながることで、プラスの気持ちをもつ、プラスの考え方になることでいい空気が作れるのだと思った。まず一歩。

【学びポイント】

- ・講話後の振り返りシートには、講話からの「気づき」や、これからの行動に活かしたいことについて多くの感想が記入された。保護者の学びたい内容と合致した講演会になっていたこと。
- ・コロナ禍の中でも、学びある取組に保護者が安心して参加できるように、感染予防対策を細かく実施されていたこと。

〈家庭教育9つの学習項目〉

今回の取組は下線の4項目

基本的な生活習慣・自立心・自制心・
善悪の判断・挨拶及び礼儀・思いやり・
命の大切さ・家族の大切さ・

社会のルール

【岐阜県家庭教育支援条例より】



『しゃべらん会』

D:子育てサロン型

ランチルームを会場に子育てサロン会を実施しました。今年度は、開催を見送ることも考えたそうですが、学校と役員さんとの相談の末、時間を短縮しコロナ対策をした上での開催となりました。

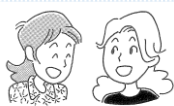
お子さんの学年が違う保護者が会話できるようにグループ分けを工夫し、「普段接点のない他地域、他学年の保護者の方と話す機会があるのはいい経験になった。」という感想もありました。開始と共にすぐに交流が始まる積極的な姿、参加した全員が話すことができるような心遣い等、子育てサロンの3つの約束が大切にされた温かい会になりました。

〈主催者の願い〉

保護者同士で交流を深め、「子育てって大変だけど、楽しいんやて!!」と感じてほしい。

〔新型コロナ感染症対策〕

- ・開催時間の短縮
- ・学校に入る際の手指消毒と検温
- ・ドアの解放、マスク着用
- ・椅子は1つ開けて座る
- ・飲食を控える等



役員さんあいさつ



〈しゃべらん会の題材はこの3つ〉

- 朝夕ご飯パパッとおすすめメニュー
- 趣味・はまっている事・やってみたい事
- 悩み・困っている事・何でもOK!

保護者の感想より(一部抜粋)

- ・普段なかなか話せない方と、なかなか話せないことを話すことができました。
- ・今日の夕飯のメニューが2品増えました。とても参考になりました。
- ・知らない方と話すのが苦手なので不安な気持ちで参加しましたが、一緒のグループの皆さんや、初めて話す方とも楽しく過ごすことができました。
- ・コロナの中で開催できるとは思わなかったのでもうれしく思いました。

3つの約束

参加

話し合いに積極的に参加しましょう。ただし、参加者は全員平等ですから、全員が参加できるように心を配りましょう。

尊重

他の人の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりせず、お互いの意見や感じ方を尊重しましょう。話したくないことはパスしてもかまいません。

守秘

参加者同士の信頼関係のうえに成り立つ交流です。個人情報自分の胸にしまい、決して口外しないようにしましょう。

【学びポイント】

- ・毎年工夫を加えながら開催されてきたことから、「しゃべらん会」の交流の楽しさ、良さを知って参加される方が多く、洞戸小学校ならではの伝統的な取組で保護者の絆を深められたこと。
- ・「しゃべらん会」の始めの挨拶では役員さんが開催の願いを伝え、終わりの挨拶では参加者の様子を振り返る感想とともに、夏休みの在宅取組の報告をされました。1つ1つの取組の学びを大切に活動されていること。

〈家庭教育9つの学習項目〉

今回の取組は下線の4項目

基本的な生活習慣・自立心・自制心・
善悪の判断・挨拶及び礼儀・思いやり・
命の大切さ・家族の大切さ・

社会のルール

【岐阜県家庭教育支援条例より】



子どもたちの健やかな成長のために

新聞にも掲載された、美濃市連合PTA 美濃市小中学校PTAの取組を紹介します。

取組の流れ

新型コロナウイルス感染症拡大防止による休校後、インターネットを通じたオンラインゲームの利用により、学校生活や日常生活に支障が生じていることを重視した美濃市連合PTAでは、10月に緊急会合を開き、市内全小中学校家庭に啓発チラシの配付を決定しました。

チラシの完成後、各校のPTA代表は全校の児童・生徒にメッセージを伝え、啓発チラシは同日配付となりました。

PTA代表のメッセージを受け、各校では話し合いや振り返りのシートの記入等、自分たちの問題として考える時間を持ちました。

美濃市連合PTA会長を務められている美濃中学校のPTA会長さんは、生徒に向けて、今年度楽しみにしていた様々な学校行事が中止になり、多くの制限の中で生活しなくてはならない状況をふまえた上で、「ゲーム依存にならないために一緒に考えよう」というメッセージを伝えました。親の気持ちを押し付けるのではなく、一緒に話し、一緒に考えようというメッセージを受け、教室に戻った生徒は真剣に振り返りシートに思いを書き込んでいました。

配付した啓発チラシ

緊急事態!

保護者の皆様へ

ご存じですか?ゲームの影響

美濃市内の小中学校ではこんなことが起こっています

今までとは違うゲーム依存状態の児童・生徒が出てきています。

- ・風呂にも入らず「深夜まで」「早朝から」ゲームをしている。
- ・仲間とお揃いのアイテムを購入するため、保護者に内緒で課金する。
- ・課金ができない場合、友だちにアイテムを購入してもらおう。
- ・ボイスチャット機能で罵ったり、悪口を言ったりする。
- ・ボイスチャットで知らない人からアイテムの要求を受けた。
- ・ゲームが上手いかなど、物を投げつけたり、蹴ったりする。
- ・寝不足のため授業に集中できない。学校の活動に対して無気力になる。
- ・先生の指導が聞けない。先生に悪態をつく。
- ・授業中に「死ね」などの言葉で一人ずつぶやき続ける。
- ・昼夜逆転して登校できなくなる。
- ・クラスや仲間の中でゲームをしていないから会話に入らず孤立する。
- ・保護者の指導に反抗して暴れる。
- ・昼夜逆転して登校できない。
- ・授業中に落ち着かない。感情のコントロールができない言動を発する。
- ・課金による仲間間での高価なアイテムのやりとりやトラブルが発生。



生徒にメッセージを伝える
美濃中学校 PTA 会長

子どもたちをゲーム 私たち保護者が子どもたちを

ゲーム機、スマートフォン、携帯

下記のポイントを参考に、家庭で

- ★ ルールづくりの基本は、親子で
- ★ ルールを決める理由を話す
- ★ ゲームの危険性を伝える
- ★ 子ども自身にしっかり考えさせ
- ★ ゲーム以外の「やるべきこと」
- ★ 守れたとき、守れなかったとき

ペアレンタルコントロールやフ

「危ないサイトを覗かない」「知らない人

ターネット上で話さない」といったこと

でおくことはもちろん、ゲーム機等ど

かを保護者の方もしっかりと把握し、お

を安全に使える環境を整えることが重要

※表裏面

ゲームソフトの対象年齢を

ゲームソフトには右のとおり年齢区分が

含まれる表現内容によりそのゲームの対

す。これに必ず従うようにしてください

美濃市連合PTA

ゲーム機、スマートフォン、携帯電話などの使い方のルールをつくり、守りましょう!

*下記以外にも各ご家庭の独自ルールも考えたいでしょう。

ルール(例)

- ① インターネットやゲームは()時まで。1日()分以内です。
- 例 → 小学生:午後9時、中学生:午後10時まで。早朝はやらない。
- ② どのようなゲームをするのか保護者に話す。
- ③ 対象年齢の表示があるゲームはそれに従う。対象年齢に合わないゲームはしない。
- ④ 家族のいるところで使う。自分の部屋に持ち込まない。
- ⑤ 保護者の許可なく買い物(課金)をしない。
- ⑥ 勉強中、食事中、入浴中は使用しない。
- ⑦ 知らない人とやり取りしない。会わない。
- ⑧ 機能制限やフィルタリングの設定をする。
- ⑨ 人の心を傷つける書き込みなどはしない。
- ⑩ 危険なサイトにはアクセスしない。
- ⑪ SNS等に写真や名前を公開しない(自分も他人も)
- ⑫ 自転車に乗る時や、歩く時には使わない。



用語の説明

■ペアレンタルコントロール
子どものスマートフォンやタブレット、ゲーム機等の利用状況を、保護者が把握したり、安全管理を行ったりする仕組みです。プレイ時間の制限・調整、課金等の管理、ネットワーク利用の制限、年齢区分(レーティング)のチェック等を行うことが可能です。

■フィルタリングサービス
アダルトサイトや暴力・薬物関連のサイトなどの有害サイトを閲覧できないようにするサービスです。現在はパソコンやスマートフォンはもちろん、ゲーム機でも利用できるようになっています。また、NTTドコモやau、ソフトバンクといった大手携帯キャリアには、顧客サービスとしてフィルタリングアプリ等が無料で提供されています。

各メーカーごとの使用制限等の設定方法

Nintendo switchみまもり設定(保護者による使用制限)	
トラブルに遭わないためにプレイステーション機器の設定	
iPhone、iPad、iPod touchでペアレンタルコントロールを使う方法	
android端末の保護者による使用制限を設定する方法	

私たち保護者が子どもたちのためにできること

チラシ配付で終わりではなく、同市連合PTAではその後も、子供たちの声に耳を傾けながら継続した活動をされています。冬休み前には、ネット(ゲーム)モラルに関する親子での約束作り・話し合い文書を全小中学校家庭に配付されました。

子供たちの変化を見逃さず、迅速な行動に移された今回の取組は、親として子供たちのためにできることは何か?を見つめ直し、子供との対話の大切さ、親子が一緒に取り組むことの大切さを教えてくれています。

チラシに紹介された事項

- ・小中学校で実際にあった事例
- ・ゲーム機、スマートフォン、携帯電話などの使用について、各家庭でのルールづくりのポイント
- ・ペアレンタルコントロールやフィルタリング
- ・ゲームソフトの対象年齢の確認方法
- ・ゲーム機やスマートフォン、各メーカーの使用制限等の設定方法

子どもが笑うとき、親も一緒に心から笑えばいい
子どもが不安を感じ、迷い、悩むとき、できれば人生の先輩として
子どもの心に灯りをともしてやればばいい
家庭教育学級運営マニュアル(改訂版)みんなで子育て 巻頭詩より一部抜粋